

Title	霜野壽亮教授略歴・主要業績
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	2010
Jtitle	法學研究：法律・政治・社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.83, No.2 (2010. 2) ,p.439- 442
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-20100228-0439

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

霜野壽亮教授略歴

- 一九六七年 三月 慶應義塾大学法学部政治学科卒業
- 一九六九年 三月 慶應義塾大学大学院法学研究科修士課程修了
- 一九七二年 三月 慶應義塾大学大学院法学研究科博士課程単位取得退学
- 一九八八年 二月 法学博士（慶應義塾大学）
- 一九六九年 四月 慶應義塾大学法学部助手
- 一九七二年 四月 慶應義塾大学法学部専任講師
- 一九七八年 四月 慶應義塾大学法学部助教授
- 一九八八年 四月 慶應義塾大学法学部教授
- 一九八九年 四月 慶應義塾大学大学院法学研究科委員
- 一九八九年 四月 慶應義塾大学大学院社会学研究科委員
- 一九八九年 九月―二〇〇一年 一月 慶應義塾大学通信教育部副部長
- 二〇〇一年 一月―二〇〇一年 九月 慶應義塾大学通信教育部長

霜野壽亮教授主要業績

〔単 著〕

『政治権力研究の理論的課題』（慶應義塾大学法学研究会叢書）

慶應通信 一九九一年

〔共 著〕

『コミュニケーション行動の理論—インターデイシプリナリー・アプローチ—』

慶應通信 一九七二年

『社会学的機能主義再考—文化と価値の理論をめざして—』

啓文社 一九八〇年

『社会学—現代社会学の課題—』

勁草書房 一九八四年

『現代の社会変動—世界のなかの日本社会—』

慶應通信 一九九二年

『社会学入門』

弘文堂 一九九六年

〔共 訳〕

『学際研究—社会科学のフロンティア』（M・シェリフ、C・W・シェリフ編、南博監訳）

鹿島研究所出版会 一九七一年

『社会調査方法史』(G・イーストホープ著、川合隆男ほか監訳)

慶應通信 一九八二年

【論文】

「権力概念の検討」

『法学研究』第四三卷第六号 一九七〇年

「勢力測定の方法」

『法学研究』第四七卷第四号、第四七卷第五号 一九七四年

「政治権力の測定について」

『法学研究』第四七卷第九号 一九七四年

「政治学の社会的有意性に関する一覚え書き」

『新聞研究所年報』(慶應義塾大学新聞研究所)、第四号 一九七五年

「高田保馬の勢力理論」

『法学研究』第五一卷第三号 一九七八年

「正統性概念に関する一考察」

『法学研究』第五三卷第九号 一九八〇年

「ニクラス・ルーマンの権力概念について」(慶應義塾創立125年記念論文集法学部政治学関係)

慶應義塾大学法学部 一九八三年

「社会学における秩序と権力の問題」

『法学研究』第五九卷第四号 一九八六年

「政治学における秩序と権力の問題」

『法学研究』第五九卷第一号 一九八六年

「権力概念の理論的規定をめざして」

『法学研究』第六一卷第一号 一九八八年

「権力の因果性に関する一考察」

『法学研究』第六四卷第五号 一九九一年

「権力と強制力」

『法学研究』第六五卷第一号 一九九二年

「間主観性についての一考察」

『法学研究』第六八卷第九号 一九九五年

「権力概念と間主観性概念との接合を求めて」

慶應義塾大学法学部政治学科開設百年記念論文集「政治

・社会理論のフロントニア」

慶應義塾大学出版会 一九九八年

「相互理解についての一考察」

『法学研究』第七七卷第一号 二〇〇四年

【書評】

- 『コミュニケーションと政治権力』(ウインドルシャム卿)
 『権力と不満』(W・ガムソン)
 『政治体系の諸モデル』(M・R・デービス、V・A・ルイス)
 『暴力について』(H・アーレント著、高野フミ訳)
 『多元主義的体系における権力と指導性』(A・S・マクファーランド)
 『交換と権力』(P・M・ブラウ著、間場寿一ほか訳)
 『行動論的価値論の研究』(瀬在良男)
 『権威の種類』(H・エクシュタイン、T・R・ガー)
 『社会的交換理論』(P・エケ著、小川浩一訳)
 『何のための異文化間コミュニケーションか』(J・C・コンドン、斎藤美津子編)
 『国際摩擦のメカニズム―異文化屈折理論をめぐる』(宇野善康ほか)
 『エスノメソドロジーとは何か』(K・ライター著、高山真知子訳)
 『都市と権力』(藤田弘夫)
- 『新聞研究所年報』第一号 慶應義塾大学新聞研究所 一九七三年
 『法学研究』第四三卷第一二号 一九七〇年
 『法学研究』第四四卷第一一号 一九七一年
 『法学研究』第四五卷第八号 一九七二年
 『法学研究』第四六卷第一二号 一九七三年
 『法学研究』第四七卷第六号 一九七四年
 『法学研究』第四九卷第四号 一九七六年
 『法学研究』第五二卷第六号 一九七九年
 『法学研究』第五三卷第八号 一九八〇年
 『法学研究』第五四卷第九号 一九八一年
 『法学研究』第五六卷第九号 一九八三年
 『法学研究』第六一巻第一一号 一九八八年
 『法学研究』第六五巻第六号 一九九二年